

今月の3冊プラス1

《看護ワンテーマ BOOK》

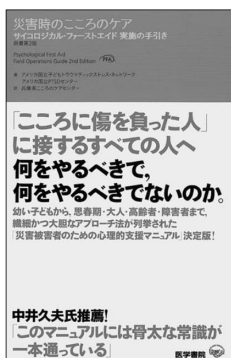
せん妄であわてない

編著：茂呂悦子 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657

定価：1890 円(本体 1800 円＋税 5%)



「看護ワンテーマ BOOK」の新しい1冊。せん妄ケアは、予防が第一であり、要因を取り除くことが重要である。そうは言っても、要因が取り除かれるまでには、日々継続してケアを実施しても即時的な効果が見えず、薬物投与や検査・処置の補助、一般状態の観察など、治療や身体機能の回復に関する援助が優先される傾向にあるのではないだろうか。本書は、推奨されているケアだけでなく、著者らが日々実践するなかで気づいた経験知を含めて紹介し、せん妄へのケアに悩みや疑問を抱いている読者が活用できるようまとめられている。



災害時のこころのケア サイコロジカル・ファーストエイド実施の手引き

著：アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワーク

訳：兵庫県こころのケアセンター 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657

定価：1260 円(本体 1200 円＋税 5%)

被災者への「こころのケア」の必要性がとくに注目されるようになったのは阪神・淡路大震災のときだった。米国で 2001 年の同時多発テロ後、「災害被害者のための心理的支援マニュアル」決定版としてまとめられた本書は、兵庫県こころのケアセンターウェブサイト日本語版を無料公開中だった。今回、東日本大震災を契機に、特別に冊子としての刊行が許された。「害を与えない」と「回復力を促進する」という態度を貫きつつ、被災者に対して、敬意をもち、そのとき目の前にある苦痛を和らげることに配慮することを基本的態度としてあげている。専門職は一度は目を通しておきたい。



乳幼児のこころ

子育て・子育ての発達心理学

著：遠藤利彦、佐久間路子、徳田治子、野田淳子 発行：有斐閣 TEL.03-3265-6811

定価：2100 円(本体 2000 円＋税 5%)

生まれたばかりの赤ちゃんにどれだけ「心」と呼ぶものがあるのか。誰もが経験して通り過ぎてきた行程なのに、この問いに対する明解かつ科学的な答えは、いまだに定まっていない。赤ちゃんの成長と発達の可能性を大きく拓くために、親や環境はどうあるべきなのか。親、そして保育者の視点から学べる内容・構成と、豊富な図表やコラム、平易な叙述で著された、新しい標準教科書。最新の知見を交えつつ、子育てに携わる保育者・養育者のために「実践に生きる知見」を紹介している。大人はいかにして子どもと向き合えばよいのかということについて、今一度振り返るために、一読をお薦め。



おたがいさま

著：森まゆみ 発行：ポプラ社 TEL.03-3257-2212

定価：1470 円(本体 1400 円＋税 5%)

弊誌連載中の「町で暮らし人と出会う」の著者である森さんが、これまでに発表した、地域のなかで生きる人と人のあり方を考えるエッセイを1冊の本にまとめた。助け合い、支え合う心が今ほど必要とされることはない日本で、人は1人では生きていけないという、忘れかけていた大切なことを思い出そう。「ありがとう」と言われたら、「おたがいさま」と応えてみよう。